



学校だより

2020年11月24日

No.8

射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香

先週は季節外れの夏日も観測されましたが、季節は確実に冬に向かっています。半袖短パンで元気に取り組んだ運動会がつい先日のように思われます。このひと月にもさまざまな行事がありました。たのしい思い出もたくさんできましたが、残念だったのは、楽しみにして準備を重ねてきた堀岡ウオークが中止になったことです。地域にあるにも関わらず、意外にも新湊大橋の「あいの風プロムナード」や県営渡船（通称越の潟フェリー）を利用したことがないお子さんが多いと聞いていましたので、今回はぜひ体験してもらいたかったです。天候のよい日には、橋の上から遠くまで一望できます。また、フェリーから見上げる新湊大橋の壮観さや普段味わうことのない波の揺らぎは、ちょっとした旅行気分にあふれることができます。縦割り班で活動することで、自分たちの地域の素敵さをさらに実感するよい機会になったことと思われまます。もし機会があれば、ご家族でミニハイキングにお出かけされてもよいかもしれませんね。



チームタイムの落ち葉掃き

日ごとに寒さがつのりつつあります。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの猛威に負けないよう、食事、睡眠等を十分にとり体調を整えるとともに、手洗いや換気等の対策に心がけて元気に過ごしていきたいものです。今後も子供たちのために、教職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願ひします。

1・2年生サツマイモほり 10月21日(水)

今年も北陸電力さんのご好意で、1・2年生がサツマイモ掘りに行ってきました。次々と現われる大きなサツマイモに子供たちは大歓声。お家へのお土産の袋に入りきれないほどの大収穫でした。それぞれのご家庭では、どんなお料理に変身したのでしょうか？自分たちで掘り起こしたイモの味は格別だったことと思ひます。



大収穫！持ちきれないよー！

6年生校外学習 10月22日(木)

6年生は、埋蔵文化財センターと富山市科学博物館へ行ってきました。初めての火起こし体験では、火起こし器を使ってもなかなか火種ができず苦労しましたが、交代しながらがんばって成功させることができました。科学博物館ではプラネタリウムを見て大宇宙の神秘さや美しさに触れてきました。学校を離れての新しい体験に大満足の日でした。



火起こし大成功！

1年生歯っぴー教室 10月28日(水)

6歳臼歯が生えてくる1年生を対象に歯みがき教室が開催されました。例年は保護者の方も一緒に学ぶ機会となっていますが、密を避けるために、今回は子供だけの参加でした。子供たちは市保健センターの歯科衛生士さんからの、歯磨きの大切さやむし歯の予防方法についてのお話をしっかりと聞いていました。歯は一生の宝物です。大切にしていきたいですね。また、1年生保護者の方にはアンケートの回答等、ご協力ありがとうございました。



歯ブラシはこんなふうに使ってね

本となかよし集会と読書週間

11月4日(水)～13日(金)

「灯火親しむべし」の一節にもあるように、読書の秋を迎えています。そこで図書委員会が「本となかよし集会」と「読書週間」を企画しました。集会では、校内テレビ放送で寸劇とミニブックトークで本を紹介したり、クイズをしたりしました。読書週間中は給食時に、ラジオの生放送のように各学年の読書名人や先生方へのインタビューをしました。おすすめの本や読書の魅力、本を好きになるためのアドバイス、思い出の本等、それぞれ楽しいお話を聞くことができました。早速、話題になっていた本のリクエストがあったそうです。本好きな堀岡っ子がさらに増えています。



答えは何番でしょう？



ブックトーク
「本の国の妖精さん」

校内オリエンテーリング

11月4日(水)

この日は堀岡ウオークに代わって、縦割り班で校内オリエンテーリングを行いました。子供たちは校舎内を巡ってクイズを解いたり、一緒に歌を歌ったり、大なわ跳びやフラフープ通し等のゲームに挑戦したりと様々なミッションを協力して解決していました。

オリエンテーリングではいろいろなゲームをしたけど、グループで円になってフラフープをくぐっていくゲームが特に楽しかったです。やってみるととても難しかったです。6年生は班のみんなをまとめてすごいと思いました。みんなでのしくやれてよかったです。(3年)

雨で堀岡ウオークに行けなかったけど、みんなで協力できてよかったです。またいろいろみんなで協力できるようにがんばりたいです。(4年)

今日のオリエンテーリングで、私は6年生として班のみんなをまとめることと場を明るくすることができたと思います。みんなで行動し、たくさんおしゃべりができました。たくさん話しかけるとみんなも笑顔になってくれて、私も笑顔になれたのでよかったです。(6年)



人気の曲は「カエルのうた」？



海王丸の帆は全部でいくつ？



手を離さずにフラフープを通すのは難しいなあ

持久走記録会

11月5日(木)

好天に恵まれた持久走大会では、どの子も自己ベストを目指し、目当てをもって精一杯の走りを見せてくれました。スポーツの秋の「イベント」は一区切りとなりますが、これからも朝のマラソンタイム、冬場のなわ跳び運動等の体力づくりを継続し、生涯スポーツの素地づくりに努めていきたいと思ひます。

1年のときよりも早く走れてよかったです。1分も速くなりました。来年も、もっともっと早く走るといいな。(2年)

最初はとても緊張していたけど、最後まであきらめずにがんばれました。記録会では、一番速いタイムが出てうれしかったです。(3年)

タイムは少しくやしなかったけれど、練習を重ねて全力を出したので満足です。来年は、さらにベストタイムを出したいです。(5年)



最後まで走るぞ！



自己ベストを目指すぞ！



走るって気持ちいい！

ふれあいコンサート 11月5日(木)

芸術の秋にふさわしく、5日(木)に射水市芸術文化協会から3名の音楽家の先生をお迎えし、「ふれあいコンサート」を開催しました。第1部はテノールの澤武紀行さんとピアニストの森田夏海さんによる本格的な声楽を体験しました。オープニングの「オーソレミオ」に続き、各学年の音楽の教科書から、これからも歌い継いでいきたい歌曲を情感豊かに歌い上げていただきました。第2部は「リズムを学ぼう」と題し、絹谷安都子さんから、リズムや音符の基本を手拍子を交えて分かりやすくご指導いただきました。最後に基本のリズムが逆転する「シンコペーション」がふんだんに入っている曲として、「紅蓮花」をピアノ演奏してくださいました。あっという間の1時間でしたが、子供たちは音楽の世界を存分に楽しむことができました。



本物の迫力に圧倒されました



リズムのつくりがよくわかったよ

ぼくたちのために、学年で習う曲を調べて演奏してくださったのが一番心に残りました。(2年)

ふれあいコンサートはすごく楽しかったです。歌を歌う人、ピアノを弾く人、音符やリズムを教えてくれる人が来てくださいました。私は「鬼滅」の曲が大好きだから、最後にピアノで弾いてもらえてうれしかったです。(3年)

プロの歌手の人の歌は聞いたことがなかったので、びっくりしました。感動で涙が出そうでした。私もプロみたいに歌いたいです。上手なピアノと上手な歌とが重なってきれいだと思い、心が落ち着きました。また聞きたいです。(4年)

6年租税教室 11月6日(金)

租税教育推進協議会から講師をお迎えし、租税教室を行いました。税金とは何か?税金の使い道や税の種類にはどんなものがあるのかなど、自分たちの暮らしに重要な役割を果たしていることを分かりやすく、かつ専門的に教えてくださいました。高学年にもなると「固定資産税」「相続税」といった言葉を知っている子供もいたそうです。ここで学んだことを、将来社会を支える担い手としての生き方につないでいってほしいと思います。



税は暮らしを支えるために大切な役割があるんだね

租税教室で税が50種類ぐらいあることを知りました。10種類ぐらいしか知らなかったけど世の中にはいろんな税があることや何に使われるのかをくわしく知ることができました。(6年)

なでしこ公開学習 11月7日(土)

今年度初めての学習参観ということで、子供たちも緊張感と同時にうれしさを隠せない様子でした。お忙しい中、多数ご来校いただき、さらに3密を避けるためマスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなどのご協力、ありがとうございました。また、「いのちのメッセージカード」にもご協力ありがとうございました。心温まるメッセージの一部を紹介いたします。



今年初めての授業参観。ちょっぴり緊張するけどうれしいな

(※お名前部分等、文章を一部変更させていただいております)

学しゅうさんかんにきてくれて、ありがとう。ドキドキしたけど、うれしかったよ。ぼくのよいところをたくさんおしえてくれて、ありがとう。ぼくは、おとうさんとおかあさんのやさしいところがだいすきだよ。これからもすすんでおつたいをがんばります。これからもよろしくね。おとうさんおかあさん、だいだいだいだいだいだいだいすき。(1年)

おかあさんのおなかのいいところ、げんきにうまれてくることのできるかどうかわからなかったけれど、げんきにうまれてきてくれたね。おいしやさんたちもビックリするほど、ぐんぐん大きくなったよ。そんなあなたが、いろんな人にやさしくしてあげたり、おうちでおつたいをしてくれたりして、おとうさんもおかあさんも、とてもうれしいよ。かぞくみんな、あなたのことがだいだいだいだいだいだいだいすきだよ。(1年 母)

<p>生きていたら、いろんなことにちょうせんができると分かりました。生きられなかったら、何もできないことがよく分かりました。生きていたら、どんどんせいちょうしているいろんなことができることが分かりました。生きていたら元気がわいてくる。人げんは、考える力でべんきょうができる。(2年)</p>	<p>本当にそうだね。歩いたり食べたり当たり前に行っていることも、元気でいることも、遊んだり勉強したり成長していくことも、全部生きているからなんだよね。生きていてすごいね。《生きていたら元気がわいてくる》って言葉、とってもすてきだと思ったよ。生きているからこそできることってたあくさんあるよね。(2年 母)</p>
<p>わたしをうんでくれてありがとう。いのちのまつりという文章を読んで、いのちはとても大切だということに気づきました。だから、お母さんがうんでくれなかったら、わたしはうまれていないのかなと思いました。お母さん、本当にありがとう。お父さんもありがとう。おじいちゃん、おばあちゃんもありがとう。大すきだよ。命を大切にすね。なくさないように気をつけるね。(3年)</p>	<p>あなたがうまれてきてくれて、お母さんはとても幸せです。あなたがえがおで毎日をすごしてくれるだけで、お母さんもうれしくなります。毎日、「ただいま」と元気いっぱい帰ってきてくれるとホッとします。お父さん、お母さん、お兄ちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなの命がつながっています。大切な大切な命。自分を大事にしましょうね。お母さんたちも全力であなたを守るからね。(3年 母)</p>
<p>道徳の授業で、10歳でなくなった女の子の詩を読み、命は取りかえられないということを学びました。私は、かんごしにならなくても、人が苦しそうにしていたらすぐに助けようと思いました。家族みんなも助けられるように、今は勉強をして、大人になったら社会に生かせるようにがんばります。(4年)</p>	<p>思いやりの気持ちを大切にしているきみを見て、お父さんはとてもうれしく思いました。これからも思いやりの気持ちをつねにもって人と接し、成長していってください。お父さんはいつもきみを応援しています。(4年 父)</p>
<p>お話に出てくる光祐さんは、とても元気で明るかったけど、病気になるって苦しいときに家族からの温かい言葉で「がんばろう」という勇気もちました。自分もつらいことがあったときに友達がはげましてくれたことがありました。そのときの自分と友達に似ているなと思いました。自分もつらくてもがんばったり、人をはげましたりできるようにになりたいなと思いました。(5年)</p>	<p>たった一つしかない命。誰もがかわることのできない命。だからこそかけがえのない命。つらく、苦しいことがあったときに、一人でかかえこまず、誰かにうちあけようね。家族や友達、先生に話すだけでも希望、勇気、はげみになるからあきらめないで！また、あなたなら、周りの友達が困っているときは、しっかり話を聞いて一緒にがんばっていく勇気と優しさをもった人になれると思うよ。(5年 母)</p>
<p>瑠璃さんは震災にあい、お母さん、おばあさん、おじいさん、友達をなくしてつらい思いをしたのに、前を向いて自分の好きなことができていてすごいなと思いました。また、瑠璃さんががれきの前でトランペットを吹いている写真を見て何か力になれるかと大きな舞台を開いてくれた人も優しいなと思いました。私も瑠璃さんのようにつらいことがあっても立ち直り、前を向いていきたいなと思いました。(6年)</p>	<p>これから生きていく中で、楽しいこと、思い通りにいくこと、成功ばかりではないと思います。心がくじけて悲しくなって、誰かのせいにしたくなって、気持ちがどん底になることもあると思います。そんなときに、自分一人ではなく、支えてくれる人がいることを忘れないで、自分の力で、誰かの支えで、前向きに立ち直れる人になってほしいと思います。(6年 母)</p>

スマホ・ケータイ安全教室 11月18日(水)

SNS等のネットは、便利なツールとして日常生活の中で急激な広がりを見せています。それに伴い、ネットを巡るトラブルが急増し、今や大人だけではなく子供たちも犯罪に巻き込まれるケースも報じられています。「これぐらい」という軽い気持ちや面白半分での書き込み等、ネットの危険性や正しい使い方について理解できていないことが大きな要因となっています。ご家庭でもスマホやケータイ、タブレット等の正しい使い方やネット利用のルールを十分にご指導いただいていることと思いますが、



正しく使うことは大切だね

今回は、専門の先生をお招きし、低・中・高学年ごとに安全教室を開催しました。子供たちは、実際のトラブルの例を基に、ほんの出来心のいたずらが取り返しのつかない事態をまねく恐ろしさや正しく使うことの大切さを改めて学んでいました。私たち教職員も、安全で正しい使い方ができる力を身に付けさせるためには、家庭と学校双方の連携が必要であること改めて実感しました。

今回は行事が多く、いつもより拡大版の学校だよりとなりました。それでも子供たちの素敵な姿はまだたくさんあり、お伝えしきれいていません。コロナ禍の中でも、実りの秋として様々な活動や行事を存分に体験し、多くの学びを得ることができているのも保護者や地域の皆様のご理解、ご協力のおかげと感謝しております。子供たちには、これからも日々の学びを丁寧に積み上げ、予測不能の事態にも「仲よく」「たくましく」生き抜く力を身に付けてほしいと願っています。